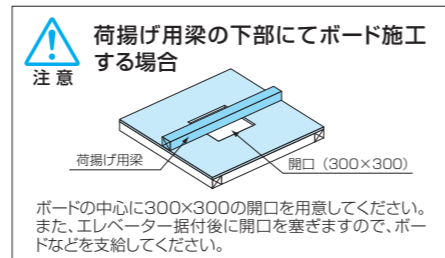
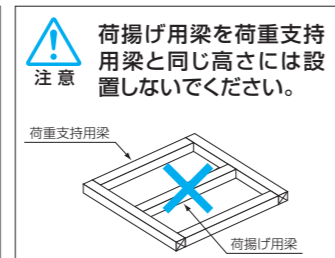
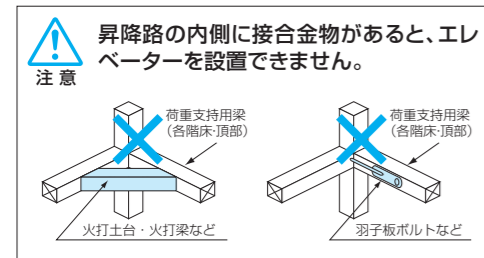
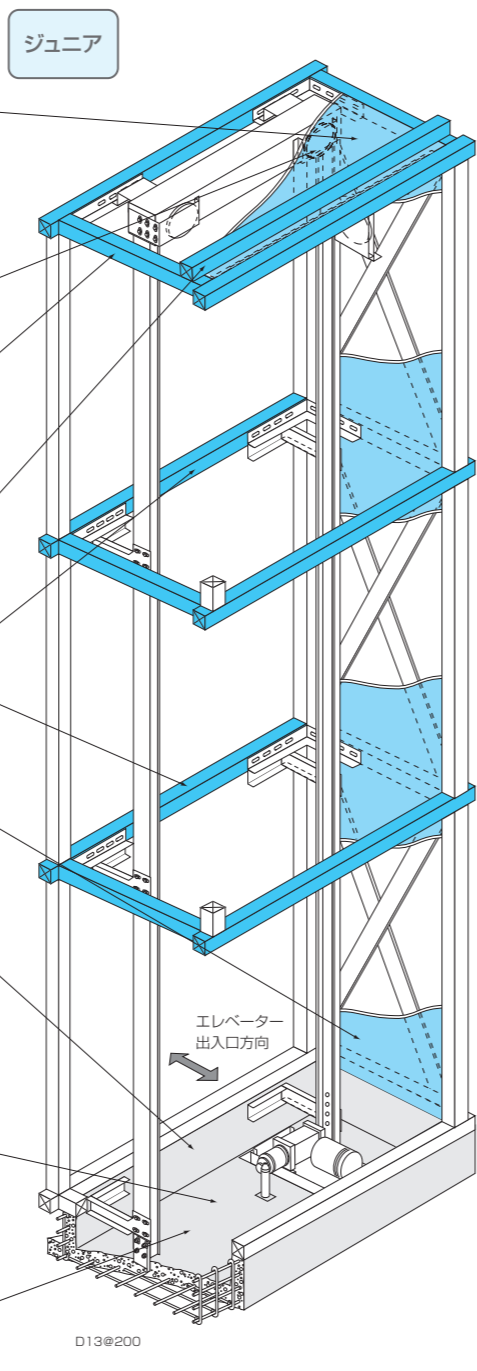
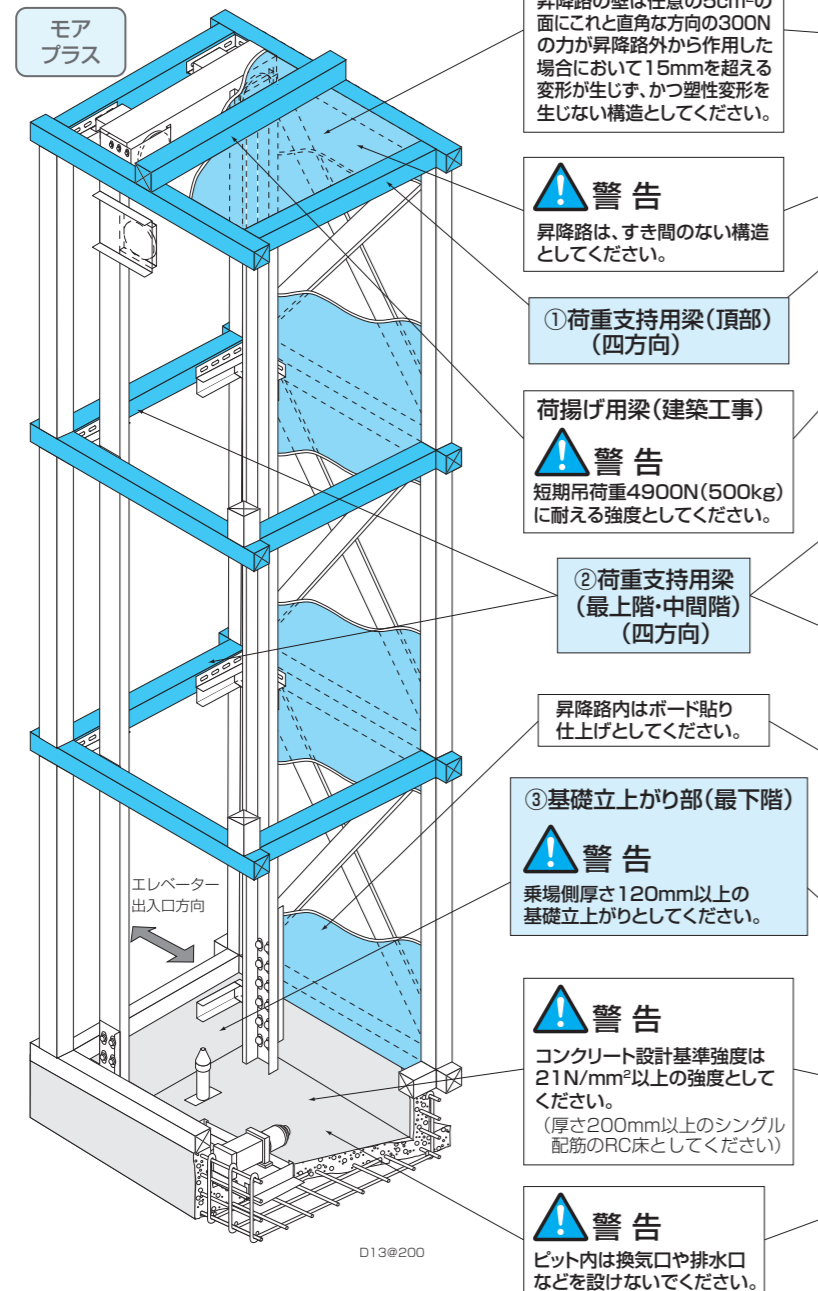


標準断面図

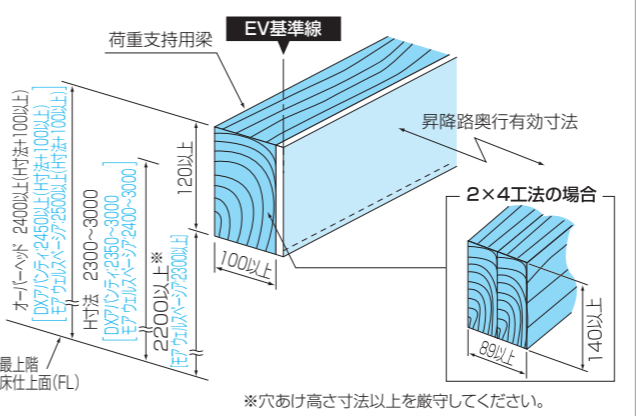
昇降路の構造

DX アバンティ	DX 禅	DX ファインウッド
ファミリー	ファミロング	コンパクト
モア ウェルスペース	モア ロング	モア スタンダード
モア プラス		



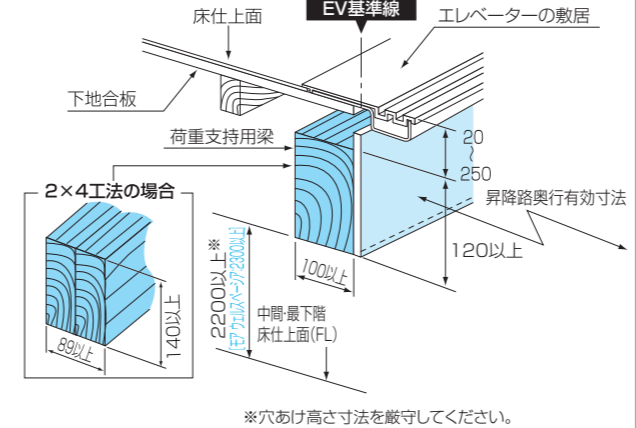
荷重支持用梁(頂部)

- 頂部の荷重支持用梁は、最上階床仕上面から2400~3000mmの範囲内に梁成120mm以上が納まるように設置してください。
- レール固定用ブラケットを設置しますので、必ず四方同じ高さで設置してください。(左図①)



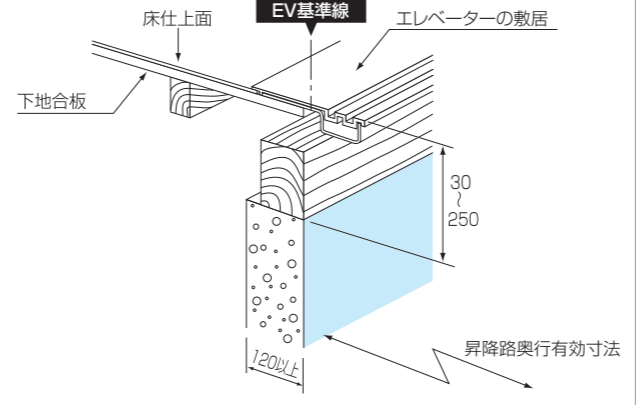
荷重支持用梁(最上階・中間階)

- 最下階を除く各階の荷重支持用梁(床梁)の梁成は120mm以上としてください。
- レール固定用ブラケットを設置しますので、昇降路を囲む荷重支持用梁は必ず四方同じ高さで設置してください。(左図②)
- 乗場機器設置のために、荷重支持用梁上端から床仕上面まで20~250mmの寸法を確保してください。



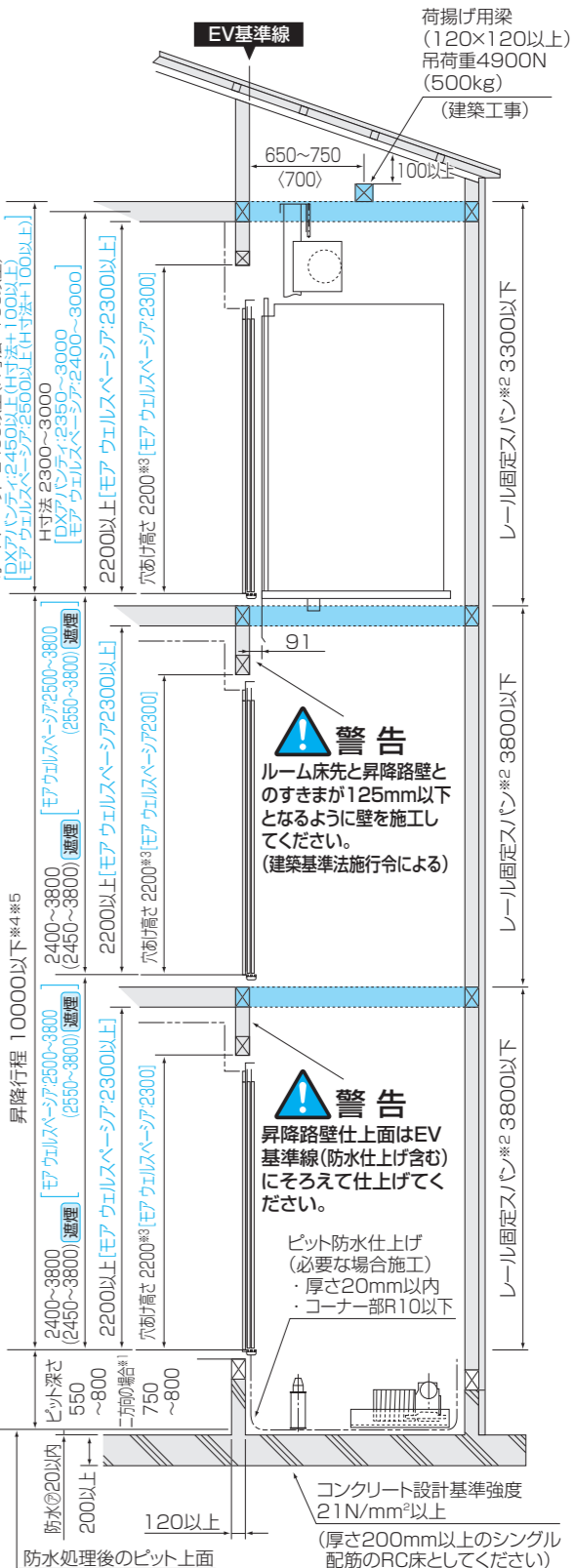
基礎立上がり部(最下階)

- レール固定用ブラケットを設置しますので、厚さ120mm以上の基礎の立上りを設けてください。(左図③)また、防水施工の場合は防水面がEV基準線となります。
- 乗場機器設置のために、基礎立上がり部から床仕上面まで30~250mmの寸法を確保してください。



昇降路断面図

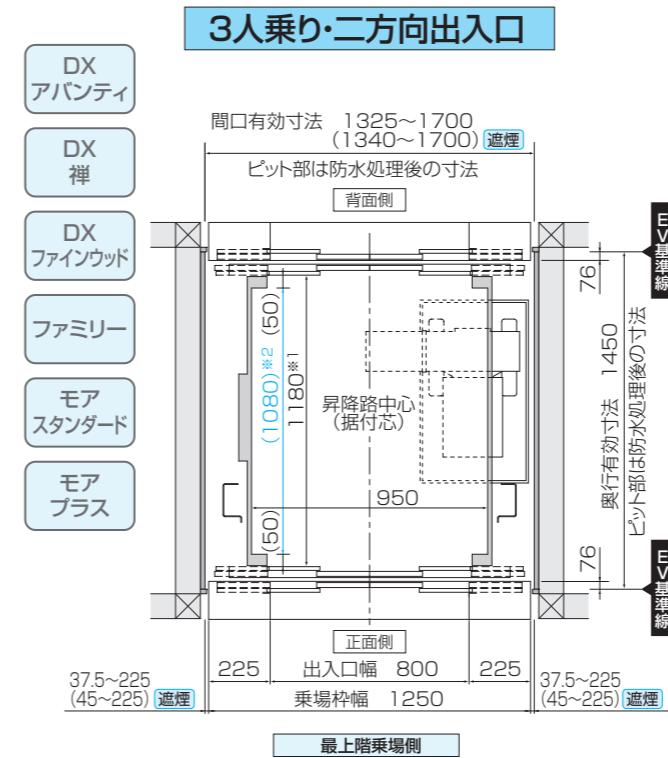
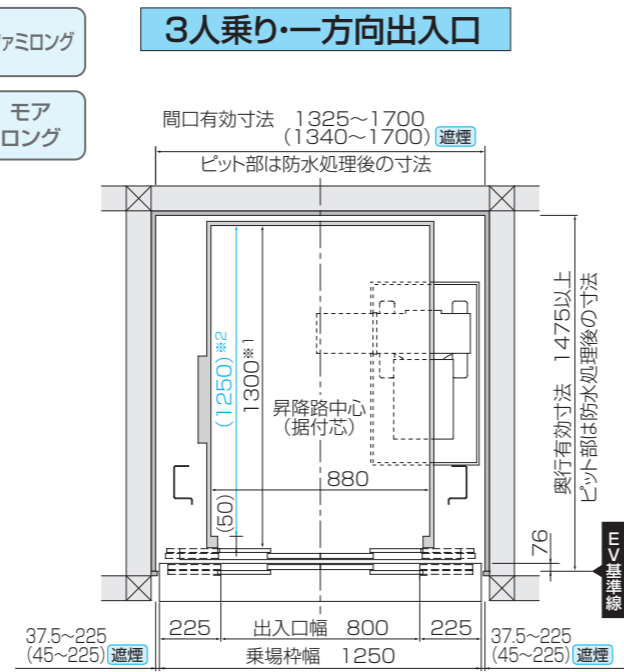
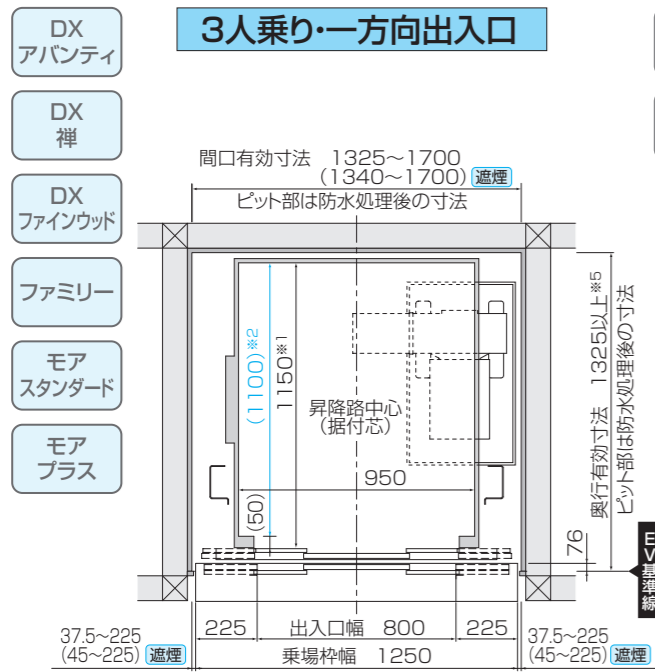
遮煙の値は遮煙乗場ドア適用の場合の寸法を示します。  
 (<)内の数値は「スイ～とホーム ジュニア」の寸法を示します。



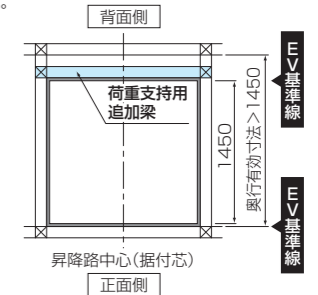
## 標準平面図

遮煙乗場ドア適用の場合は、一部寸法が異なりますので、詳しくは81〜86ページをご参照ください。  
 (遮煙)の値は遮煙乗場ドア適用の場合の寸法を示します。

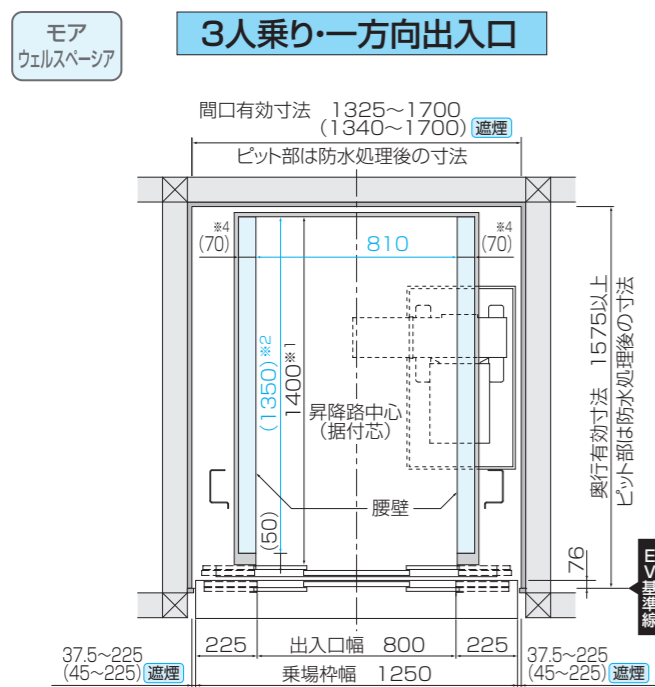
- 下図の昇降路有効寸法を確保してください。
- 電気・電話工事は55〜62ページをご参照ください。
- EV基準線、二方向出入口の留意点につきましては11〜14ページをご参照ください。
- 昇降路内はボード貼り仕上げとしてください。
- 地下階がコンクリート造などの建物が複合構造となる場合は、EV基準線や昇降路有効寸法の確保について当社までご相談ください。



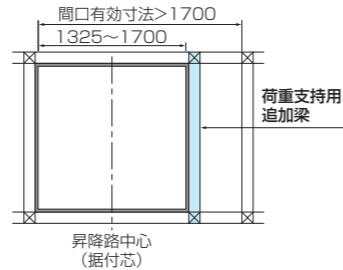
**ワンポイント!**  
**奥行有効寸法>1450mmとなる場合**  
 二方向出入口で下図のように奥行有効寸法が1450mmより大きい場合には、奥行有効寸法が1450mmとなるよう必ず追加の荷重支持用梁を四方同じ高さに設置してください。



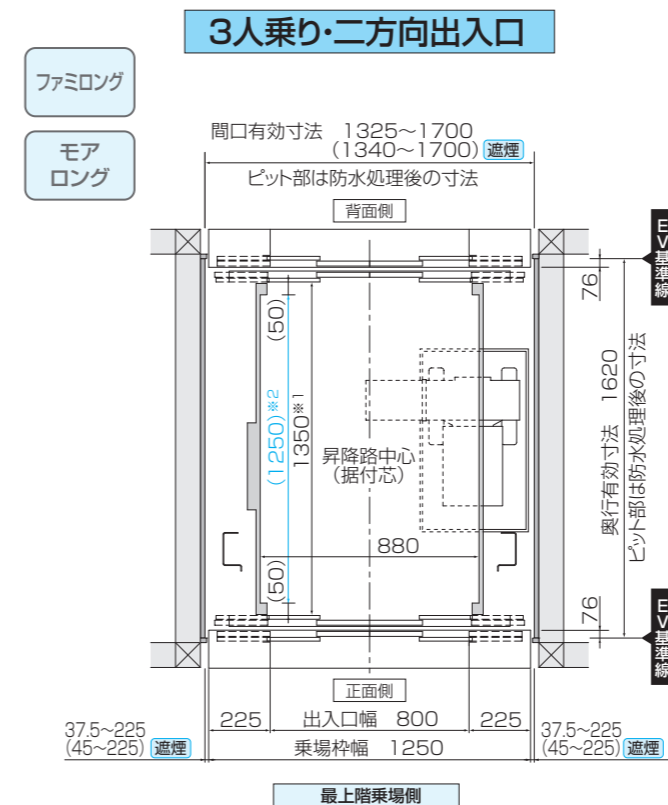
- ※1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、踏込部の100mmを除いた1080mmとなります。
- ※2 記載の値は、踏込部(センサー感知部分)を除いた奥行有効寸法です。
- ※3 間口有効寸法最大の1700mmの場合、有効寸法の中心が据付芯となります。



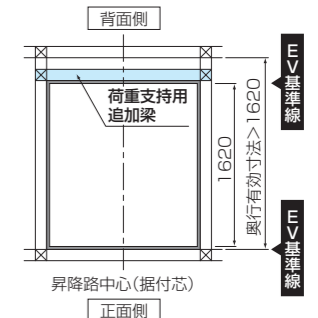
**ワンポイント!**  
**間口有効寸法>1700mmとなる場合**  
 下図のように間口有効寸法が1700mmより大きい場合には、間口有効寸法が1325mm~1700mm(遮煙乗場ドア適用の場合は1340mm~1700mm)の範囲内となるよう必ず追加の荷重支持用梁を四方同じ高さに設置してください。



- ※1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は記載の値から、踏込部の50mmを除いた値となります。
- ※2 記載の値は、踏込部(センサー感知部分)を除いた奥行有効寸法です。
- ※3 間口有効寸法最大の1700mmの場合、有効寸法の中心が据付芯となります。
- ※4 記載の値は、腰壁から壁面までの寸法です。
- ※5 昇降行程10m超仕様(オプション)適用の場合、奥行有効寸法1350以上となります。



**ワンポイント!**  
**奥行有効寸法>1620mmとなる場合**  
 二方向出入口で下図のように奥行有効寸法が1620mmより大きい場合には、奥行有効寸法が1620mmとなるよう必ず追加の荷重支持用梁を四方同じ高さに設置してください。

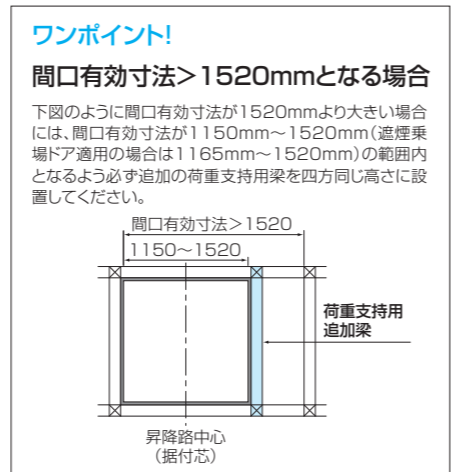
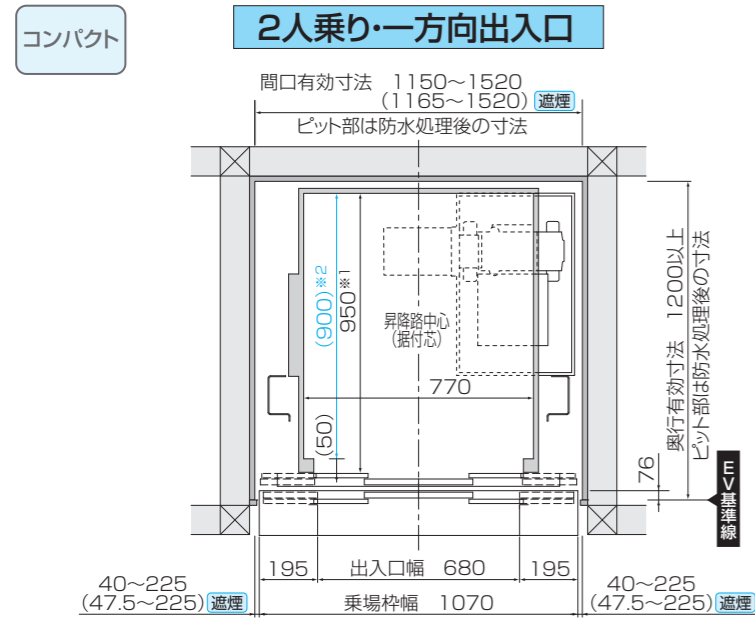


- ※1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、踏込部の100mmを除いた1250mmとなります。
- ※2 記載の値は、踏込部(センサー感知部分)を除いた奥行有効寸法です。
- ※3 間口有効寸法最大の1700mmの場合、有効寸法の中心が据付芯となります。

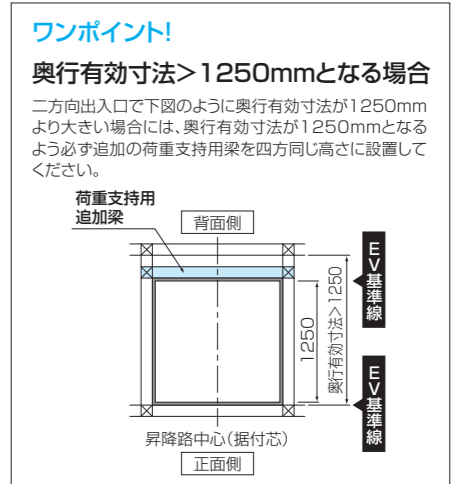
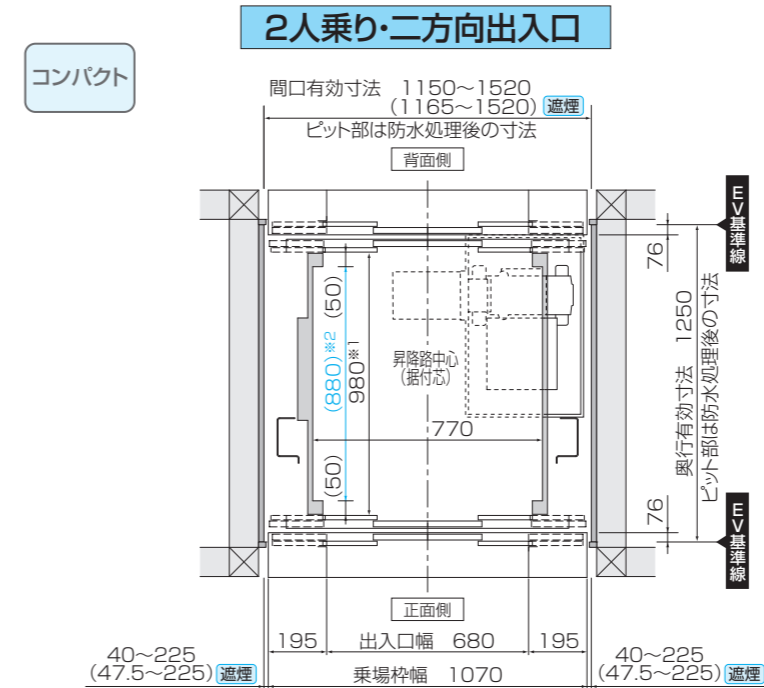
## 標準平面図 遮煙乗場ドア適用の場合は、一部寸法が異なりますので、詳しくは81～86ページをご参照ください。 (遮煙)の値は遮煙乗場ドア適用の場合の寸法を示します。

- 下図の昇降路有効寸法を確保してください。
- 電気・電話工事は55～62ページをご参照ください。
- EV基準線、二方向出入口\*の留意点につきましては11～14ページをご参照ください。
- 昇降路内はボード貼り仕上げとしてください。
- 地下階がコンクリート造などの建物が複合構造となる場合は、EV基準線や昇降路有効寸法の確保について当社までご相談ください。

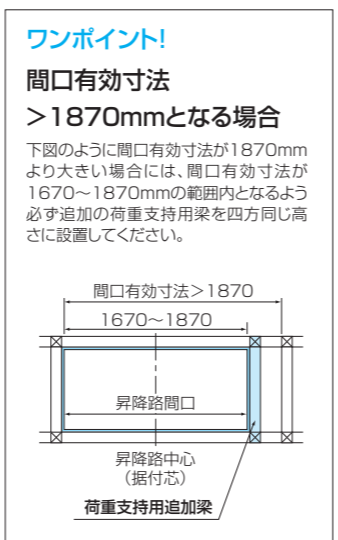
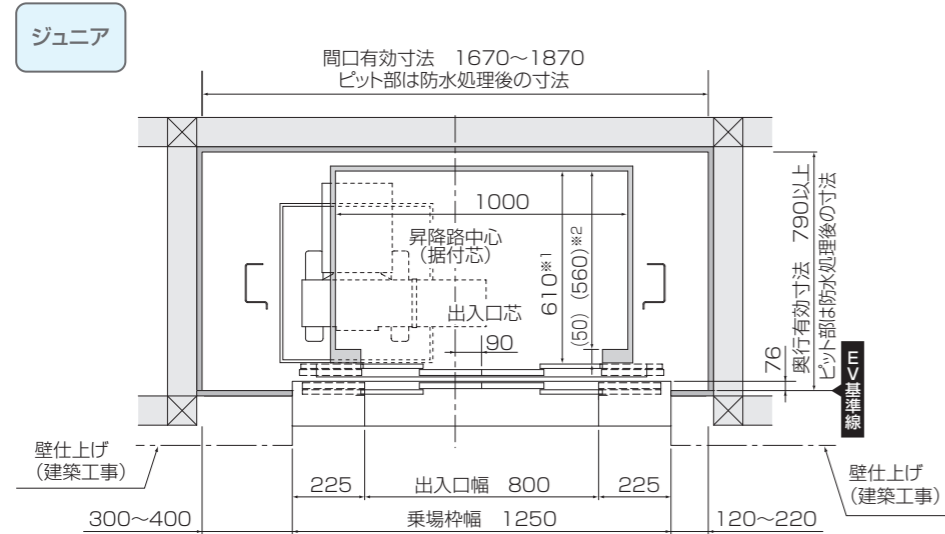
\*「スイ〜とホーム ジュニア」は対象外です。



- \*1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、踏込部の50mmを除いた900mmとなります。
- \*2 記載の値は、踏込部(センサー感知部分)を除いた奥行有効寸法です。
- \*3 間口有効寸法最大の1520mmの場合、有効寸法の中心が据付芯となります。



- 最上階乗場側**
- \*1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、踏込部の100mmを除いた880mmとなります。
  - \*2 記載の値は、踏込部(センサー感知部分)を除いた奥行有効寸法です。
  - \*3 間口有効寸法最大の1520mmの場合、有効寸法の中心が据付芯となります。

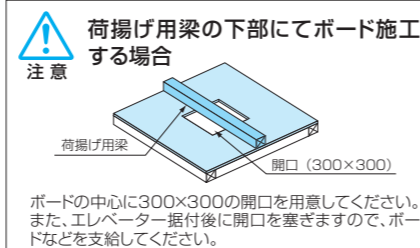
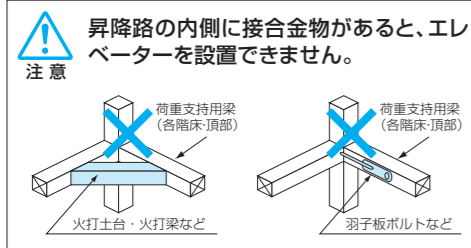
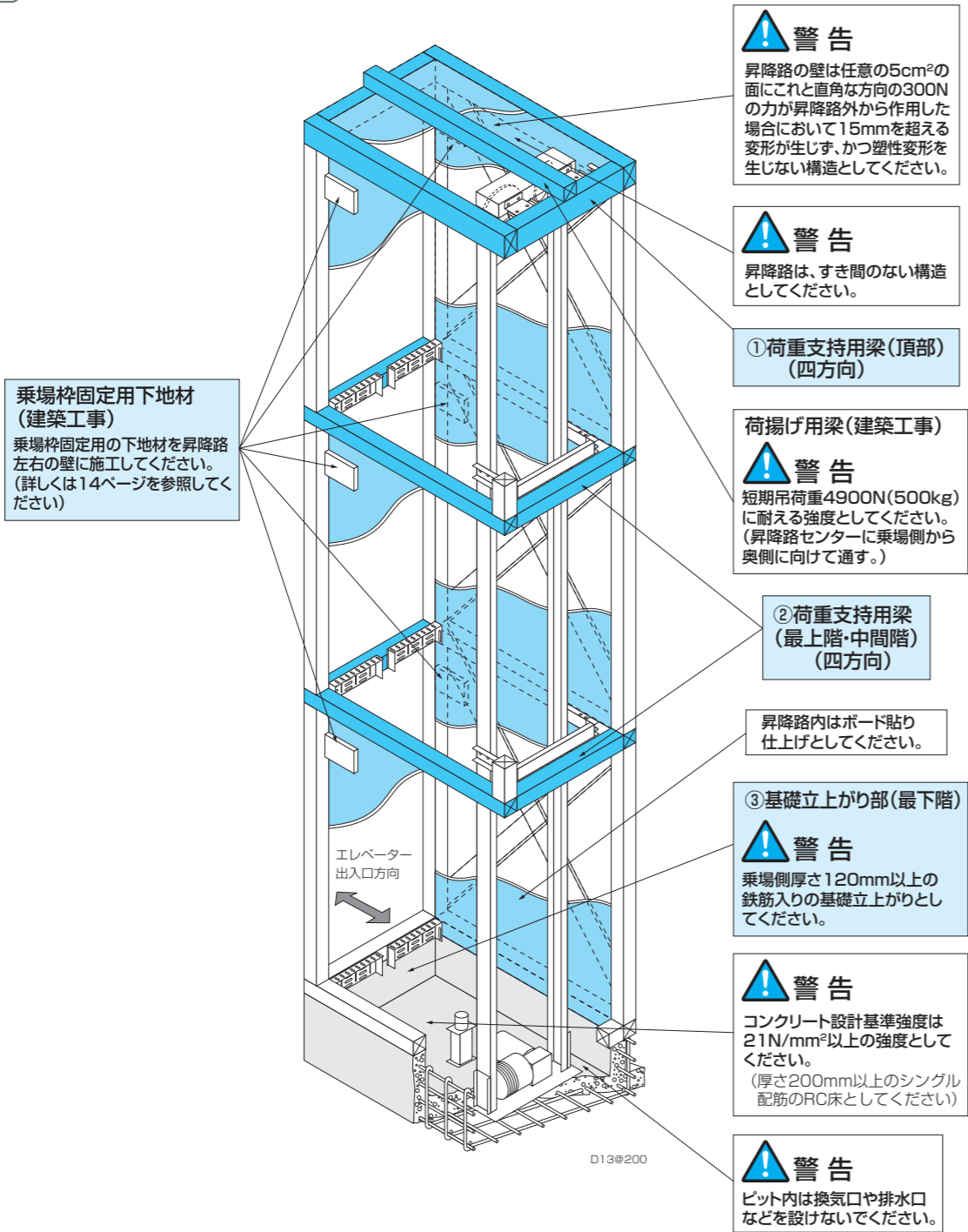


- \*1 確認申請及び建築基準法による、床面積計算時のルーム奥行寸法は、踏込部の50mmを除いた560mmとなります。
- \*2 記載の値は、踏込部(センサー感知部分)を除いた奥行有効寸法です。
- \*3 間口有効寸法最大の1870mmの場合、有効寸法の中心が据付芯となります。
- \*4 遮煙乗場ドア適用時の昇降路寸法は標準寸法と同じになります。

### 標準断面図

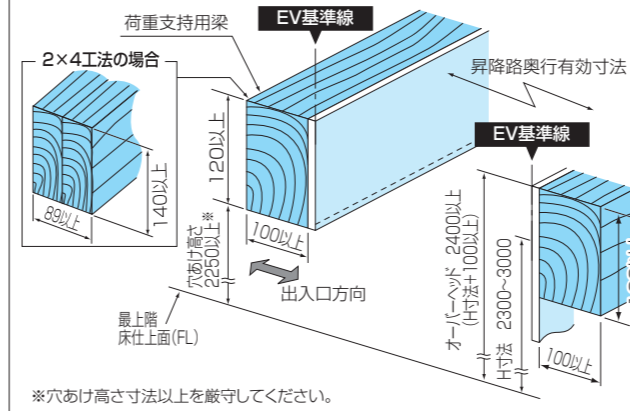
#### 昇降路の構造

ファミスリム



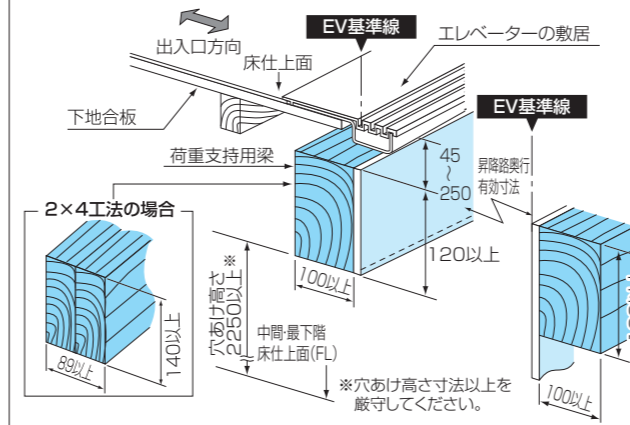
#### 荷重支持用梁(頂部)

- 頂部の荷重支持用梁は、最上階床仕上面から2400~3000mmの範囲内に梁成120mm以上が納まるように設置してください。
- レール固定用ブラケットを設置しますので、必ず四方同じ高さに設置してください。(左図①)



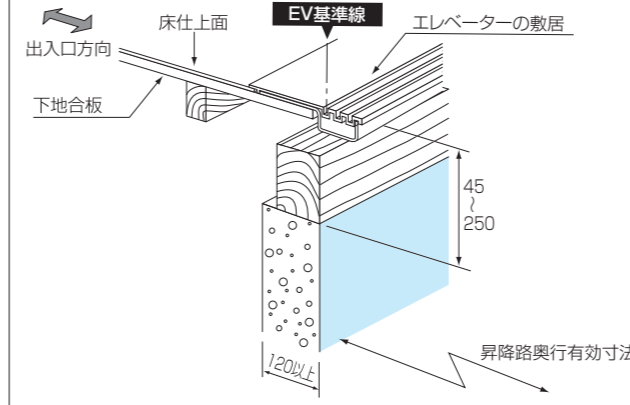
#### 荷重支持用梁(最上階・中間階)

- 最下階を除く各階の荷重支持用梁(床梁)の梁成は120mm以上としてください。
- レール・乗場固定用ブラケットを設置しますので、昇降路を囲む荷重支持用梁は必ず四方同じ高さに設置してください。(左図②)
- 乗場機器設置のために、荷重支持用梁上端から床仕上面まで45~250mmの寸法を確保してください。

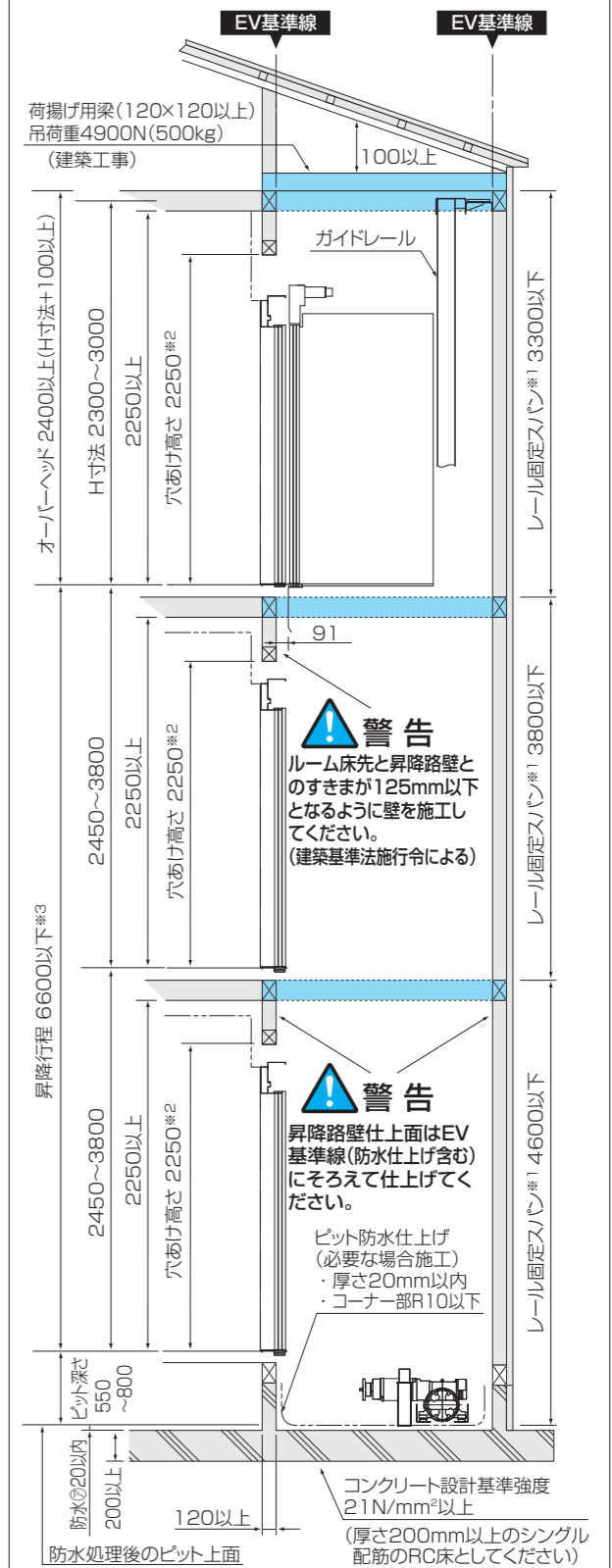


#### 基礎立上がり部(最下階)

- 乗場固定用ブラケットを設置しますので、厚さ120mm以上の基礎の立上りを設けてください。(左図③)
- また、防水施工の場合は防水面がEV基準線となります。
- 乗場機器設置のために、基礎立上がり天端から床仕上面まで45~250mmの寸法を確保してください。



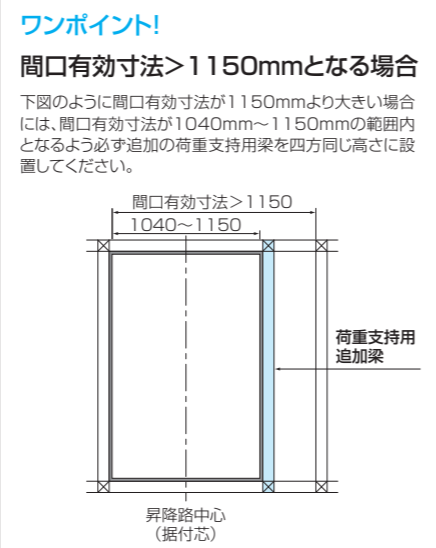
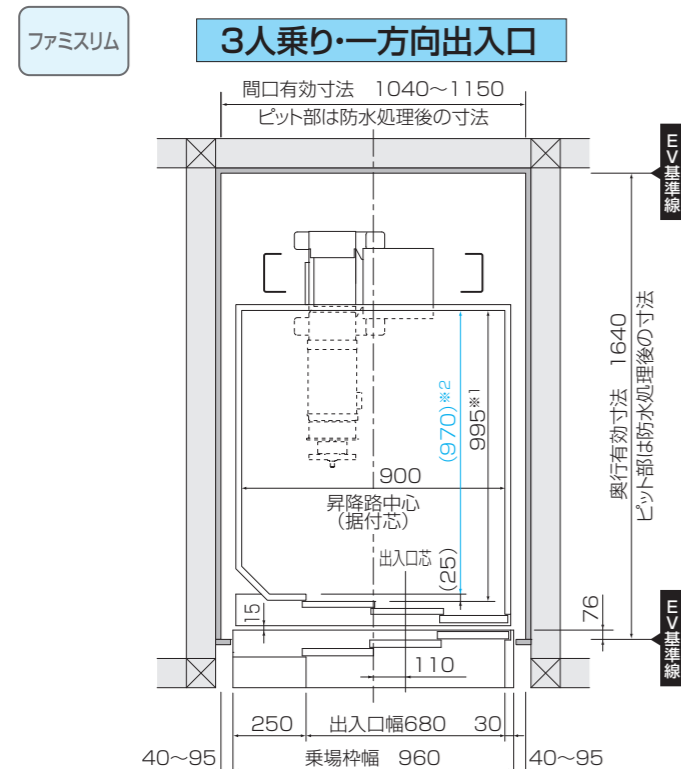
#### 昇降路断面図



- \*1 レール固定スパンが下記に示す寸法以下となるように建築負荷荷重を受けられるための構造物を設けてください。  
最上階：3300mm以下  
中間階：3800mm以下  
最下階：4600mm以下
- \*2 穴あけ高さ寸法以上を厳守してください。
- \*3 停止箇所数は、最大3停止となります。
- EV基準線とは、出入口側及び背面側の昇降路内面を示します。
- 階高指定寸法範囲の上限を超える場合は、中間部に梁を設けてください。
- 参考：1kgf=9.8N

## 標準平面図

- 下図の昇降路有効寸法を確保してください。
- 電気・電話工事は55～62ページをご参照ください。
- EV基準線の留意点につきましては11ページをご参照ください。
- 昇降路内はボード貼り仕上げとしてください。
- 地下階がコンクリート造などの建物が複合構造となる場合は、EV基準線や昇降路有効寸法の確保について当社までご相談ください。



- ※1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、踏込部の25mmを除いた970mmとなります。
- ※2 記載の値は、踏込部を除いた奥行有効寸法です。
- ※3 間口有効寸法最大の1150mmの場合、有効寸法の中心が据付芯となります。
- ※4 遮煙乗場ドア適用時の昇降路寸法は標準寸法と同じになります。

# メモ

